

63

職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率

日病QI

指標の意義

医療機関を受診する患者は、免疫力が低下していることが多く、病院職員からの感染を防止する必要があります。また、流行時における人員確保の意味もあり、患者の安全に大きく関わります。

接種率が高い場合には、院内感染防止対策に積極的に取り組んでいると評価できます。

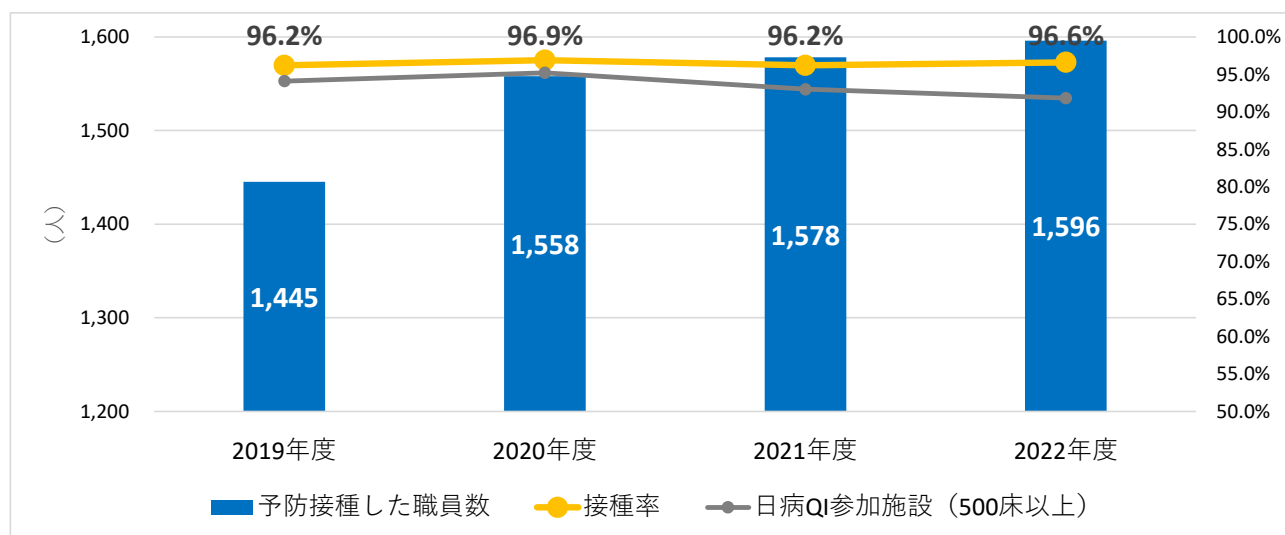
定義

分子 インフルエンザワクチンを予防接種した職員数×100

分母 職員数（アレルギーや重篤な副作用の既往等で接種不可能な職員を除く）

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
予防接種した職員数	1,445	1,558	1,578	1,596
接種率	96.2%	96.9%	96.2%	96.6%
日病QI参加施設（500床以上）	94.1%	95.2%	93.0%	91.8%



指標の説明

2019年度から2022年度までの平均接種率は96.5%であり、院内感染防止対策に積極的に取り組んでいると評価できます。

64

職員の非喫煙率

自院

指標の意義

健康増進法の病院敷地内における喫煙の原則禁止や、自治体の禁煙条例等を踏まえ、公共の場における健康被害をもたらす喫煙及び受動喫煙をなくすためには、患者に指導する立場である医療従事者も禁煙を推進していく必要があります。喫煙はがんをはじめ多くの病気と関係しており、予防できる死亡原因です。非喫煙率が高い場合は、禁煙の推進に積極的に取り組んでいると評価できます。

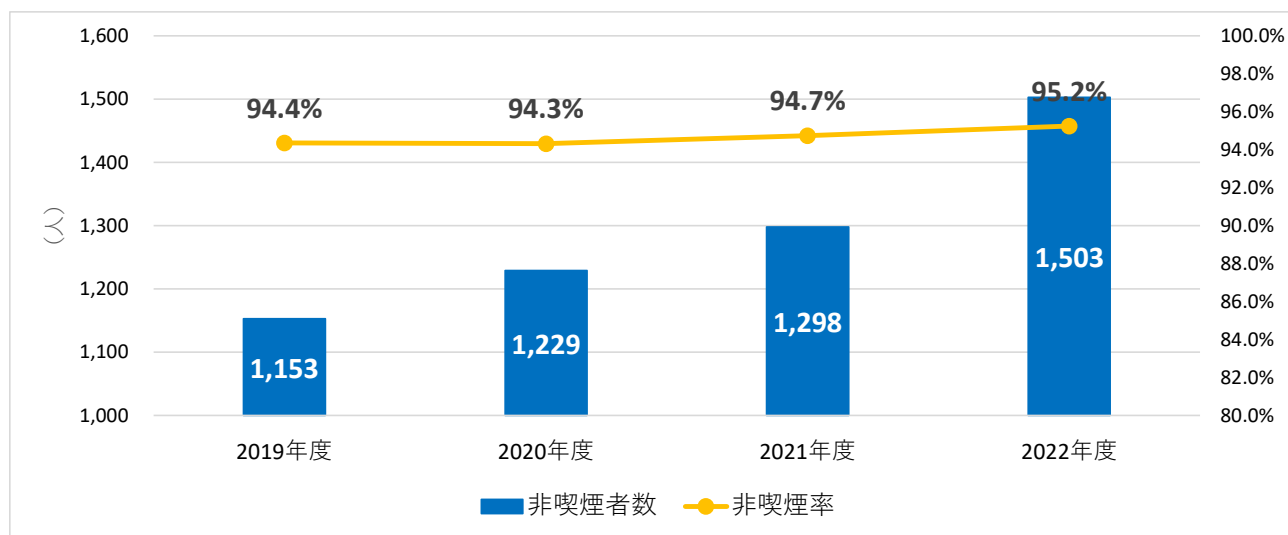
定義

分子 非喫煙者数（健康診断受診時の問診内容より）×100

分母 職員健康診断受診者数（除外：健診未受診者および健診問診票の喫煙欄の未記入者）

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
非喫煙者数	1,153	1,229	1,298	1,503
職員健診受診者数	1,222	1,303	1,370	1,578
非喫煙率	94.4%	94.3%	94.7%	95.2%



指標の説明

2019年度から2022年度までの平均非喫煙率は94.7%であり、喫煙率は5.3%となっています。

喫煙率は減少傾向であり、禁煙の推進に積極的に取り組んでいると評価できますが、更に喫煙者の低減に努めていきます。